

# 学年通信



岡山操山高等学校1年次生  
生徒の皆さんへ  
そして保護者の皆様へ

平成20年7月29日

## ○1学期が終わりました。

保護者の皆様、先日はお暑期中を懇談にお越し頂き有り難うございました。1学期が終了しました。どんな4ヶ月間だったでしょうか。学校では、学習はもちろん、日常生活全般をきちんと送るように指導しております。当たり前のようですが、本当にちゃんとやろうとすればシンドイことだと考えています。中学校までとは一変した生活、新しい友人。変化した環境の中で、1年生は全体的によく頑張っていたのではないのでしょうか。一見何の問題もなくやっているように見えるお子さんも、かなりストレスをため込んでいることでしょうか。夏休みがリフレッシュの期間になればと思っております。(夏期課題はありますが…)

## ○学習の実態について(生徒の皆さんへ)

少々古い話ですが、6月2日(月)～8日(日)に学習実態調査を行いました。各人の結果については面談や保護者懇談でも話題になったと思いますが、全体としては以下の通りでした。

1週間の平均	172.5分
うち平日の平均	137.8分
休日(土・日)の平均	209.0分

1年生では、1日平均3時間の学習時間の確保を目標にして欲しいと思っています。ですから、この数字自体は「やや不足」な程度なのですが、大切なのは「今後」と「内容」だと考えています。例年、2学期には学習時間が減る傾向にあります。そのことについては、学年集会で那須先生が触れられた通りです。

高校の学習に慣れてくれば要領が良くなるのは当たり前ですから、同じ事をやっていれば減るのは当然です。しかし、その時に学習の「内容」を検討してみる必要があります。「当てられて困らない程度でいい」という学習なら、どんどん要領が良くなり、どんどん学習時間は短くなるでしょう。それでいいのか？

学習内容をいかに自分のものとするか。それはゴールがあるようで、実はゴールなど無い話です。どうすれば内容の濃い学習となるか。1学期の学習を振り返って、そのことを考えてみてください。分からない人はHR担任・教科担任に相談して下さい。

## ○「職業研究」に御協力有り難うございました。(保護者の皆様へ)

御多忙のところ、御無理を言いました。御陰様で素晴らしい冊子が出来上がりました。お子様が持ち帰っておられると思います。なお、生徒は未来航路の時間に冊子を読んだ後、保護者の方へのメッセージ文を書いています。裏面にありますので、御覧下さい。保護者の方の仕事に対する真摯な姿勢を、彼らなりの形で受け止めてくれています。

## ○通知票の送付について

同封の通知票の上半分の各科目の得点は第2回学力テストの素点です。下半分の観点別評価は、授業中や提出物などあらゆる学習活動を評価したもので、学年末の5段階評価につながります。観点別評価はABCの3段階ですが、Cは目標を達するのにかなり努力を要する場合なので、事実上2段階と考えた方がいいかも知れません。Cがついていると、学年末の評定が「1」、つまり単位の修得が出来ない可能性がある所以要注意です。

2008年度 1学年 第2回学力テスト 度数分布表

	現代文	古文	漢文	世界史A	現社	標準数I	速修数I	数学A	数演	理総	理総	理総	保健	標英IA	標英IB	速英IA	速英IB	家庭基礎
100						11		6	3	1	3							
90～	9		17	19	18	52	7	65	8	17	34	7	9	1	8	22		
80～	38	7	41	43	32	52	12	68	22	12	44	49	53	10	11	35	12	3
70～	44	22	49	55	38	19	22	41	27	25	57	74	96	26	25	31	20	24
60～	68	34	53	49	36	10	25	43	43	50	51	76	72	35	28	21	17	38
50～	57	49	46	51	41	6	21	29	31	46	34	50	44	27	26	20	20	69
40～	39	58	35	33	54	3	17	15	53	39	31	14	4	27	20	8	29	80
30～	16	59	21	24	26		10	11	51	30	13	5	1	10	11	3	28	48
20～	4	28	14	5	19		9	1	30	33	12	2		1	4		11	14
10～		21	3		12		3		6	22				1	4		2	3
0～		1							1	2				1	1			1
受験者	275	279	279	279	276	153	126	279	275	277	279	277	279	139	138	140	140	279
平均点	62.6	45.4	62.1	63.9	56.9	85.2	58.5	75.2	51.9	51	67.2	67.8	70.9	59.1	59.2	73.2	51.5	49.6

## ○8～9月の主な行事

8月18日(月)補習開始(毎日12時25分まで)	}	9月27日(土)午後 1年保護者説明会
25日(月)この日から、松柏祭に向けた クラス全体の準備開始		現状や科目選択のお話をします。
27日(水)補習終了(28・29日は休み)		1～4組は13:00～14:30
9月1日(月)始業式・宿題テスト(終日)		5～7組は15:00～16:30
12日(金)～14日(日)松柏祭		参加者を2つに分けて、本校で行う予定です。御都合の悪い方は、御自分のクラスと違う方に出席されても構いません。
15日(月)敬老の日、16日・17日振替休業日		

\*2学期の行事予定表はお子さんにお渡ししています。詳しくはそちらを御覧下さい。

## ○「職業研究」保護者アンケートに答えて（生徒が書いたメッセージを要約しました）

・職業に就いたからゴール、ではなく、職業についてからがスタートなのだとこのことを改めて感じました。臨床心理士に向いている人として、「自分を客観的に見つめることができる人」というのは初めて聞きました。自分をちゃんと見つめて「今何をすべきなのか、何が相手にとって大切なのか」考え実行する力がなければならないのだと強く感じました。

・（製薬メーカーの営業MRに関して）薬がなくて苦しんでいる患者さんがいるので、新薬を開発していくのが大事ですが、一方でその薬が患者さんのもとに届くことができるかどうか、というのは営業の重要な責任だと知りました。働くことによって他人のためになり、自分のためにもなるのが一番だと思います。収入も大事ですが、仕事の見返りとして温かい気持ちになることができる、という仕事がしたいです。

・（弁護士に関して）志した理由のところを書いてあった「正義の味方にあこがれていた。（これは幻想でした）」という言葉に驚きました。私のイメージとしては、検察官は「被害者の味方」、弁護士は「被告人の味方」という感じがします。私の想像ですが、被害者に同情してくれる人は多くいても、被告人に味方してくれるような人はあまりいないと思います。そんな被告人の味方であるのは大変ではないでしょうか。もう一つ刺激を受けたのが、数学の勉強が大切という部分です。私の考えでは法務＝文系、文系ならば数学は必要ないのではないかと感じていました。そのため数学の勉強をおろそかにしがちでした。しかし数学も必要だということを知り、頑張らなくてはいけな

いと感じました。

・回答集にはいろんな「会社員」を務めていらっしゃる方々がいて、具体的な内容を読んで初めて「会社員」を一つのイメージにしていた自分が愚かだったと知った。金融や医薬品まで、幅広い活躍をされているのに、私はなぜ書類を書いているイメージしかなかったんだろうと思った。直接誰かのためにやって、直接反応が受け取れる仕事がある。その一方で、その人たちを支えるために、誰かの直接的反応が受け取れなくても、一生懸命仕事をこなしている人がいる。とても格好良いと感じました。

・私はまだ自分の将来が思い描けません。“働く”ということに最も必要なのはやはり情熱ではないかと思うのです。確かに情熱がなくても仕事は出来ます。しかし、やりがいを感じられる仕事につきたい。今回、この冊子を読み、様々な職業観・アドバイスに触れ、そのために今の自分にできることはなんだろうと考えてみると・・・、それは“幅を狭めない”ということなんではないかと思いました。まず今は、自分のことをよく知り、視野・興味の幅を広げて様々な経験を積むことが第一だと思います。そこで、新たな価値観が生まれるかも知れない。そうしたことが自分のプラスになり、そしてまたその経験が仕事にせよ何にせよ社会で生きる力になるのではないかと感じました。

### 【今月の詩】

「冷ヤッコを食べながら」長田 弘（『食卓一期一会』）は、HP版では割愛します。

※「学年通信」についての御意見・御感想は岡田泰全までお願いします。

TEL (086) 272-1241 (学校) e-mail : āasumasa\_okada@pref. okaāama. jpまで、どうぞ。